

東京駅到着後、車掌長の グリーン車(8~10号車) 車内点検に反対します！！

12月13日、会社より来年3月14日のダイヤ改正以降、車掌長（列車長）による東京駅到着後のグリーン車（8～10号車）の車内点検を行うと業務委員会で『お知らせ』としてありました。この『お知らせ』は労働協約の団体交渉第39条（2）の労働時間、休憩時間、休日及び休暇の基準に関する事項を無視した行為であり団体交渉で話し合わなければならない事柄である！

来年のダイヤ改正以降は東海道区間で700系が廃止になり全ての列車がN700系となるため東京～新大阪間が2時間27分運転になります。東京駅折り返し清掃時間も従来の12分から10分に短縮されます。会社は駅係員と車掌長の車内点検は効率的な業務と云っていて、車掌長の車内点検に必要な時間は措置するとも言っています。のぞみ号の乗務時間が2時間30分から2時間27分になり、たとえ点検時間が付いても今と労働時間は大きく変わる事はありません。また、車内点検で拾得した遺失物は所定の遺失物授受証にて駅に引き継ぐ事になります。このような車内点検や遺失物の対応は車掌長（列車長）の労働強化でしかなく到底受け入れる事ができません。

会社は、車掌長ではなく駅係員の増員や出向社員での対応を考えるべきである！。

2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され5月には特大荷物の設置と事前予約制の導入も会社は行おうとしています。

今回の車掌長（列車長）のグリーン車車内点検は認められない！

**次期ダイヤ改正の、「のぞみ12本ダイヤ」は早くからわかって
いた、車掌長の車内点検ありきの実施である！！**

**労働時間、休憩時間の変更は
団体交渉事案である。
車掌長の車内点検は団体交渉を行え！！**